

1. 科目名 (単位数)	保育内容 (表現) / 表現 (保育児童福祉専修) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1135 GELA1326						
2. 授業担当教員	林 麻由美								
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期・秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	乳幼児は日常生活や遊びの中で、イメージを自由に膨らませながら豊かな表現を見せてくれる。保育者には、そのような乳幼児一人ひとりのあるがままの姿を捉え、意志のある「表」と無意識のうちに現れる内的変化である「現」をそれぞれ大切に受け止めるための理解力を身につけることが必要である。本講義では、講義と演習を通して、乳幼児における表現の意味を理解し、表現の萌芽に気づき、その表現に対し、適切に対応できる応答力を身につける。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育内容「表現」のねらいと内容について理解し、説明することができる。</li> <li>2. 乳幼児の発達段階による「表現」の違いを理解し、説明することができる。</li> <li>3. 自ら表現することにより、自己発見、自己認識を経て、保育者自身が豊かな表現者となるよう、自己表現力を高める。</li> <li>4. 乳幼児の「表現」を支える保育者の役割について理解し、説明することができる。</li> <li>5. 乳幼児の「表現」を援助するための方法を身につける。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容に即して活動の準備</li> <li>2. 教科書の読みとりとまとめ</li> <li>3. 発表の準備と内容に関するレポートの提出</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 小林紀子・砂上史子・刑部育子編著新しい保育講座 11『保育内容「表現」』ミネルヴァ書房 2019。</p> <p>【参考書】 無藤隆 監修『事例で学ぶ保育内容 領域表現』萌文書林。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 幼稚園教育要領、幼稚園教育要領 (平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p>								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育内容「表現」が設定された背景及びねらい、内容について理解することができたか。</li> <li>2. 自ら表現することにより、自己発見、自己認識を経て、自己表現力を高めることができたか。</li> <li>3. 乳幼児の発達段階による「表現」の違いを理解し、説明することができるか。</li> <li>4. 乳幼児の「表現」を支える保育者の役割について理解し、説明することができるか。</li> <li>5. 乳幼児の「表現」を援助するための方法を身につけ、実践することができるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>①授業への取り組み・発表内容</td> <td>総合評価の 40%</td> </tr> <tr> <td>②提出物 (レポートを含む)</td> <td>総合評価の 30%</td> </tr> <tr> <td>③筆記試験</td> <td>総合評価の 30%</td> </tr> </table> <p>①から③までを総合的に評価する。</p>			①授業への取り組み・発表内容	総合評価の 40%	②提出物 (レポートを含む)	総合評価の 30%	③筆記試験	総合評価の 30%
①授業への取り組み・発表内容	総合評価の 40%								
②提出物 (レポートを含む)	総合評価の 30%								
③筆記試験	総合評価の 30%								
12. 受講生への メッセージ	<p>学習目標が達成できるよう努力しましょう。 幼児理解を深め、未分化な幼児の表現活動を捉え、的確に援助できるようになりましょう。 自らの表現力をみがきましょう。自然の美しさや日々の変化に気づく感受性を育てましょう。 色々な文化的経験を積みましょう。</p>								
13. オフィスアワー	授業内にて周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション (シラバス説明・授業概要)	事前学習	教科書第 1 章を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 2 回	領域「表現」の誕生とそれ以前の保育内容について	事前学習	教科書 pp. 93～99 を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 3 回	領域「表現」のねらいと内容について①	事前学習	教科書 pp. 100～106 を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 4 回	領域「表現」のねらいと内容について②	事前学習	教科書 pp. 100～106 を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 5 回	乳幼児の発達と表現	事前学習	教科書 pp. 21～28 を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 6 回	季節を意識した平面制作とお話作り①	事前学習	折り紙を折ることに慣れておく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 7 回	季節を意識した平面制作とお話作り②	事前学習	活動の準備。構想を練る。						
		事後学習	制作とお話作りの振り返り。						
第 8 回	季節を意識した平面制作とお話の発表と振り返り	事前学習	発表の準備。						
		事後学習	制作とお話作り、発表に関する振り返りを行う。						
第 9 回	諸感覚を通しての感性と表現	事前学習	教科書 pp. 37～40 を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 10 回	音楽表現、身体表現 (歌唱、リズム遊びなど)	事前学習	歌唱に慣れておく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 11 回	音楽表現、身体表現 (音楽に合わせて身体を動かすなど)	事前学習	ストレッチをしておく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						
第 12 回	子どもの表現を支える保育者の役割を考える。	事前学習	教科書第 8 章を読んでおく。						
		事後学習	授業で学んだことの復習。						

第13回	事例から子どもの表現を考える。	事前学習	領域「表現」のねらいと内容の復習をする。
		事後学習	授業で学んだことの復習。
第14回	音楽表現、造形表現の教材と指導法	事前学習	教科書第11、12章を読んでおく。
		事後学習	授業で学んだことの復習。
第15回	まとめ（保育内容「表現」における今後の課題	事前学習	教科書第13章を読んでおく。
		事後学習	授業で学んだことの復習。
期末試験			